

農林水産大臣賞（捕獲鳥獣利活用部門（団体））

鳥獣被害をはじめとした地域課題に立ち向かうため、若手農家が自ら会社を立ち上げ、農業生産を中心に、新商品開発、農作業受託、狩猟活動を実施。ジビエ処理施設やレストランとも協業し、狩猟・ジビエを活用した地域活性化の活動を通じて、地域課題の解決に貢献。

株式会社 ひなたや 日向屋

（代表取締役：岡本 おかもと 和宜 かずのり）

主な取組

和歌山県田辺市

- 地域内のジビエ解体処理施設やジビエ料理店との連携により、捕獲から処理・加工、調理、販売の連続した体制を構築し、捕獲個体を地域資源（ジビエ）に、施設を観光・体験資源にと、地域を巻き込んだ取組へと発展させることで、周辺農家の鳥獣害対策の意識改革にもつながり、地域全体の鳥獣害対策と活性化に貢献。特に、ジビエの安定供給を図るため、地域内の農家によるわな捕獲を支援するとともに、地域外の捕獲協力農家との橋渡しも推進。
- 衛生管理ガイドラインの遵守等に取り組むジビエ処理施設に与えられる「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証」を取得しているほか、個体の引き取りに関するガイドラインを作成し、ジビエの品質の維持を確保。
- ICT技術の導入による捕獲活動の効率化、小中学生向けにジビエへの理解を深める食育活動、定住人口や関係人口の増加に力を入れるなど、多様な人材を確保。また、耕作放棄地を解消し果樹園に再生することで、鳥獣被害を軽減。

【利活用頭数】

取組開始前 平成29年度：0 → 令和3年度：600頭